

看護理工学会誌 執筆要項

[2016年5月29日改訂]

- 1) タイトル、キーワードには機関名を入れないようにすること。
(例) タイトル「看護理工病院の院内イントラネットの整備について」の場合は「当院の院内イントラネットの整備について」にする。
- 2) 本文はMicrosoft Wordで作成する。サイズはA4とし、周囲2.5cmの余白を残す。日本語論文は所定様式として1ページ35字×30行(フォントサイズ10.5ポイント)で作成し、英語論文はダブルスペースとする。言語綴は行末で切れないようにその語の頭で改行する。
- 3) 表紙には、希望論文種別(総説、論説、原著、速報、実践報告)、タイトル、著者名、所属、キーワード(3つ以上5つ以内)の順に日本語、英語で明記する。英語のキーワードはすべて小文字とする。実践報告はキーワードは不要とする。表紙を1ページ目として本文にページ番号を入れる。
- 4) 著者の所属の表記は、筆頭著者单独の場合は無記号とし、共著者の所属が異なる場合、筆頭著者を1)とし、共同著者名の右肩およびその所属名の右肩に2)、3)と番号をつける。
- 5) 要旨(英語200語以内、日本語400字以内)をつける。実践報告は英語要旨は不要。
- 6) 日本語論文は原則として常用漢字、ひらがな、現代仮名づかいを用い、外国語の固有名詞(人名など)は原語を、一般に日本語化された外国語はカタカナを用いる。英語論文は当該言語を母国語とする者が読んで、正確、明確に理解できるものでなければならない。
- 7) 度量衡は国際単位など汎用されているものを使用する。
- 8) 固有の機器、医薬品、医療材料などの商品名は論文タイトル、要旨、キーワードには使用しない。論文中に記載する場合は、本文中の初出時のみ「一般名(商品名:企業名 ※正式名称を記載)」と記載し、以降は一般名で記載する。
- 9) 論文の項目の区分は原則として下記の例に従う。
 - ・大項目-項目名は無記号で上を一行あけ、本文の文頭は一字下げる。
はじめに、対象、方法、結果、考察、まとめ、文献などが相当する。
 - ・中項目-項目番号は「1.」、「2.」として上下はあけない。本文の文頭は一字下げる。
 - ・小項目-1) 2)として上下はあけない。本文の文頭は一字下げる。
- 10) 図および表にはそれぞれに通し番号をつける。
- 11) 図表のタイトル、説明は日本語、英語のいずれかに統一する。
- 12) 図のデータはJPEG、TIFF、EPS形式とする。また図表の挿入場所は本文欄外に記載する。
- 13) 症例写真などを掲載する場合はプライバシーを十分に尊重する。
- 14) 謝辞を掲載する場合は本文の末尾に記載する。
- 15) 文献は引用順に配列し、本文の末尾に一括して記載する。本文中の文献引用箇所には著者名や引用文などの右肩に1)、1)3)6)、1)-5)のように記す。
- 16) 著者が3名以上の場合は、はじめの3名までを書き、あとは「他」または「et al」と記載する。
- 17) 文献の記載様式は下記の要領に従う。なお、雑誌名は引用元の雑誌に記載されている略名を使用すること。不明な場合、和文誌は医学中央雑誌、欧文誌はIndex Medicusに従う。
 - ・雑誌の場合
著者名、論文の表題、雑誌名 巻:初頁-終頁、発行年(西暦)。
例 1) 山本亜矢, 鈴木愛美, 赤池こずえ. ストーマ装具費用がオストメイトのQOLに及ぼす影響. 日WOCN会誌 5: 12-16, 2002.
2) Langemo DK, Melland H, Hanson D, et al. The lived experience of having a pressure ulcer: a qualitative analysis. Adv Skin Wound Care 13: 225-235, 2000.
 - ・単行本、分担執筆の場合
著者名、題名、書名(編集者)、頁、出版社、発行地、発行年。
例 1) 真田弘美. 褥瘡の予防. 褥瘡の予防・治療ガイドライン(厚生省老人保健福祉局老人保健課 監修, 宮地良樹 編), 8-36, 照林社, 東京, 1998.
2) Harding CR. Effect of moisturizing factor and lactic acid isomers on skin function. Dry Skin and Moisturizers: Chemistry and Function (Loden M, Maibach H I, eds), 229-241, CRC Press, New York, 2000.

・ 訳本の場合

著者名, 訳者名, 書名, 頁, 出版社, 発行地, 発行年.

例 Altmen PL, 久保田競, 中村嘉男 訳. 生命科学論文のまとめ方のコツ. 62-83, 協同医書出版社, 東京, 1986.

・ WEB の場合

ウェブサイト名, 記事名 (記事の掲載された年月), 検索年月日, [URL]

例 U.S. Department of Health and Human Services. Healthy people 2010 (2000/11). 2001/9/26, [http://www.health.gov/healthypeople/]

・ 特許文書の場合

発明人名, 番号, 年.

例 山田太郎. 特公昭 60-1234, 1985.

White AG. US Patent No. 1234567, 1982.

18) 利益相反がある場合は文末に下記のように記載する.

本研究は〇〇の資金提供を受けた.

〇〇の検討にあたっては, 〇〇からの測定装置の提供を受けた.